

Prevalence of Pulmonary Embolism for Syncope

【失神の定義】

- 突然発症の一過性意識障害
- 持続時間は1分未満
- てんかん、脳卒中、頭部外傷は除外
- 明らかな原因のある一過性意識消失は除外

【失神の分類】

- ①neurally mediated syncope神経調節性失神
- ②orthostatic syncope起立性低血圧
- ③cardiovascular syncope心血管性失神

【背景】

- 入院患者における肺塞栓症の有病率は？
- ガイドラインにおける肺塞栓症の記載不十分

【方法】

- イタリア11施設へ失神で入院した患者が対象
- * 入院対象
 - 転倒による外傷
 - 重篤な併存疾患
 - 原因不明の失神
 - 心原性失神の可能性が高い
 - 失神の既往歴、妊娠、抗凝固薬治療中は除外

【方法】

- 肺塞栓症に代わる失神の原因有無は問わず
- 検査前確率Wells scoreで計算(カットオフ4点)
- Unlikely+D-dimer陰性→診断除外
- Likely or D-dimer陽性→造影CT or 肺換気血流シンチ

【結果】

- 2012～2014年に失神で救急受診したのは2584例
- うち入院とならなかったのは1867例(72.3%)
 - * このなかに肺塞栓症患者はいなかった？
- 入院となった717例のうち157例(21.9%)は抗凝固薬治療中、失神既往歴のある患者が35例、同意を得られなかったのが4例。
- 計560人、平均年齢76歳
- 330人(58.9%)がunlikely+D-dimer陰性
- 残る230人の内訳
 - 135例(58.7%)がD-dimer陽性のみ
 - 3例(1.3%)がWells score陽性のみ
 - 92例(42%)が両者陽性

【結果続き】

- 230人のうち97人(42.2%)が肺塞栓症と診断
- 造影CT撮影された180例中72例が肺塞栓症と診断
- 肺換気血流シンチ施行された49例中24例が肺塞栓症と診断
- 剖検された1例が肺塞栓症と診断
- 全集団のうち肺塞栓症の有病率は17.3%
 - * 無症候性の肺塞栓症であった可能性も？